

** 機械器具 70 歯科用鑄造器
一般医療機器 歯科技工用ポーセレン焼成炉 (35762000)

プログラマツト S1 1600

*【形状・構造及び原理等】

本品は、1:ファーンレスヘッド、2:ファーンレススペース(冷却トレイ、シンタリングトレイ、ダブルトレイ(Dosto Tray)を含む)、3:ディスプレイ、4:コントロールユニットで構成される。

[装置概観図]



[電気定格]

電源電圧 : AC 118 - 240V
周波数 : 50/60Hz
過電圧カテゴリー II
許容電圧変動 : ±10%
動作モード : 間欠運転(運転) 機器
ヒューズ : 250V
T16A(熱回路)

[本体寸法及び重量]

ヘッドを閉じた時のサイズ: 幅310×奥行430×高さ570mm
炉内サイズ: 直径80mm、高さ80mm
重量: 27kg

[性能]

最高焼成温度: 1600℃

*【使用目的又は効果】

酸化ジルコニウムを焼結するために歯科技工で使われる。

*【使用方法等】

[使用環境]

温度: 5~40℃
湿度: 31℃で80%以下(動作時)、
40℃で50%以下(静止時)
高度: 標高2,000m以下

1. 取り付け及び作動時前準備

詳細な設置と始動方法については本品付属の取扱説明書を参照すること。

- (1)開梱して中身を確認する。
- (2)平らな場所に本品を設置する。
- (3)本品を以下の手順で組み立てる。
 - ①冷却トレイをファーンレススペースに取り付ける。
 - ②ファーンレスヘッドをファーンレススペースに取り付ける。
 - ③電源コードを本品の電源ソケットに接続する。
- (4)電源コードを電源に接続する。
- (5)本品の背面にあるON/OFFスイッチを“1”の位置にす

ると、約1秒後にセルフテストが自動的に開始する。セルフテストが終了すると、最後に設定したスタンバイ温度まで上昇する。不具合がある場合は、エラー番号がディスプレイに表示される。

2. メニューの動作と通常の設定方法

- (1)本品はディスプレイ上に設定項目が表示される。設定項目は矢印キー右/左を使って選択する。希望の数値を入力して設定値を変更する。
- (2)選択したプログラムや焼成パラメータで、入力した数値が実行不可能な場合は、カーソルに入った数値が点滅し、エラーメッセージがディスプレイ上に表示される。
- (3)プログラムが開始した後、関連する項目が画面上に表示される。

3. 使用方法およびプログラムの説明

(1) スイッチのON/OFF

本品の背面にあるON/OFFスイッチを“1”側に入れると約1秒後にセルフテストが自動的に開始する。セルフテストが終了するとディスプレイにメインメニューが表示される。
電源を切るにはON/OFFスイッチを“0”側に入れる。

(2) 標準プログラムでの焼結

- ①ディスプレイに表示される指示に従いプログラムを選択する。
- ②キー操作でファーンレスヘッドを開く。
- ③シンタリングトレイあるいはダブルトレイに修復物を置き、焼結台の中心に置く。
- ④STARTキーを押す。プログラムは自動的に進行する。

(3) フリープログラムでの焼結

全てのプログラムに個別の値を設定できる。
焼結については取扱説明書を参照すること。

*【使用上の注意】

[重要な基本的注意]

1. 本品は発がん性のあるセラミックファイバーを含んでおり、ファイバーダストが発生する可能性があるため、マッフルの取り外しは認定されたIvoclar Vivadent(株)テクニカルセンターでのみ行うこと。また、ダストを大気中に散布する可能性があるため、強力なエア等でブローしないこと。
2. ラベルに指示されている電源(118 - 240V、50/60Hz)を使用すること。
3. 極端に低い温度の場所や、湿度の高い場所で保管されていた場合は、4時間ほど室温になじませること(その間は電源を入れないこと)。
4. 電気ショックの原因となるので、液体や異物を本品内や換気口に入れないこと。
5. 有害なガスを発生させる材料を使用しないこと。
6. 本品を使用する際は、ファーンレスの損傷が生じる可能性があるため、塩素や塩酸を含んだカラーリングリキッド等を使用しないこと。
7. 感電などの危険があるため、カバー、底板などを開け、本体内部に触れないこと。

8. シンタリングトレイあるいはダブルトレイなしで使用しないこと。
9. ファーネスヘッドを閉じたまま電源を入れた時、炉内の実際温度が600℃より高い場合、セルフテスト中にファーネスヘッドが開閉するのでファーネスヘッドに触れないこと。
10. ファーネスヘッドの上に物を置かないこと。また、ファーネスヘッドの開閉を阻害しないこと。
11. ファーネスヘッドが閉まる時に障害となり、破損の原因となるので、シンタリングトレイをフレームプレート上に置かないこと。シンタリングトレイは必ずシンタリングトレイホルダーの真ん中か、焼結後は専用の冷却トレイの上に置くこと。
12. 破損及び火傷の危険があるので、本品が動作中にファーネスヘッドの下に手を入れないこと。
13. ケーブルや接続部分が破損する危険があるので、ファーネスヘッドのケーブルを持って移動させないこと。
14. 絶対にファーネスヘッドを手動で開閉しないこと。
15. 火傷の危険があるので、本品が動作中に高温になる部分に触れないこと。
16. 静電気によって部品が損傷する危険があるので、電子部品に触らないように注意すること。
17. 本品の安全性が確保できない場合は、事故を未然に防ぐために、電源を切ること。例えば、下記のようなケースが該当する。
 - 保管状態の悪いまま本品が長時間放置されていた。
 - 本品が過熱する。
18. 本品の近くで液体を使用しないこと。誤って液体が本品内に入った時は、本品は動作させずに電源プラグを抜いて修理を依頼すること。
19. 有害ガスが発生する物を燃やさないこと。
20. 本品は室内でのみ使用すること。
21. 本品を運ぶ時は冷却トレイを持たずに本体底部を持つこと。
22. ヒーターや熱源の近くに設置しないこと。
23. 直射日光が当たらない場所に設置すること。
24. 通気を良くするために、本品と壁の間に十分なスペースを確保すること。
25. 本品を爆発の危険がある場所に置いたり、そこで使用しないこと。
26. 本品はファーネスヘッドが開く時に放熱するので、近付き過ぎないように注意すること。
27. 本品は耐火性のテーブルの上に設置すること。
28. 電源プラグは必ずアースを引いたソケットに接続すること。また電源コードが高温のファーネスヘッドに触れないように注意すること。
29. ショートや過熱から火災の原因となり危険なため、電源は必ず十分な容量のある単独回路をとり、たこ足配線や細い延長コードの使用は絶対に行わないこと。
30. 待機中はファーネスヘッドを常に閉じた状態にすること。
31. 停電(約10秒)が起こるとプログラムが中断し、エラーが表示されるので指示に従うこと。
32. プログラムが停止するので、プログラム実行中に設定値を変更しないこと。
33. 一般ゴミとして廃棄しないこと。各自治体の規定に従って正しく廃棄すること。

*【保守・点検に係る事項】

詳細については取扱説明書を参照すること。

1. 本品及び部品は必ず定期点検を行うこと。
2. しばらく使用しなかった機器を再使用する時には、使用前に必ず本品が正常かつ安全に動作するかを必ず確認すること。
3. 本品の清掃は、乾いた清潔な布か少し湿った布で行うこと。洗剤は使用しないこと。必ず電源プラグを抜いてから行うこと。
4. 調整、メンテナンス、修理、パーツの交換は、コンセントを電源から抜いた後に行うこと。
5. 電源が接続され、ファーネスヘッドが開いた状態で調整、メンテナンス、修理を行う必要がある時は、注意事項や取扱方法を熟知した専門家が必ずこれらの作業を行うこと。
6. メンテナンス後、必要な安全確認テストを行うこと。
7. 純正パーツのみを使用すること。
8. 焼結リングで定期的に炉内の温度校正を行うこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

[製造販売元]

Ivoclar Vivadent株式会社

電話 03-6801-1301 Fax 03-5844-3657

www.ivoclarvivadent.jp

[製造元]

Ivoclar Vivadent AG (リヒテンシュタイン侯国)